

# 2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

## (2024年4月～2024年6月)

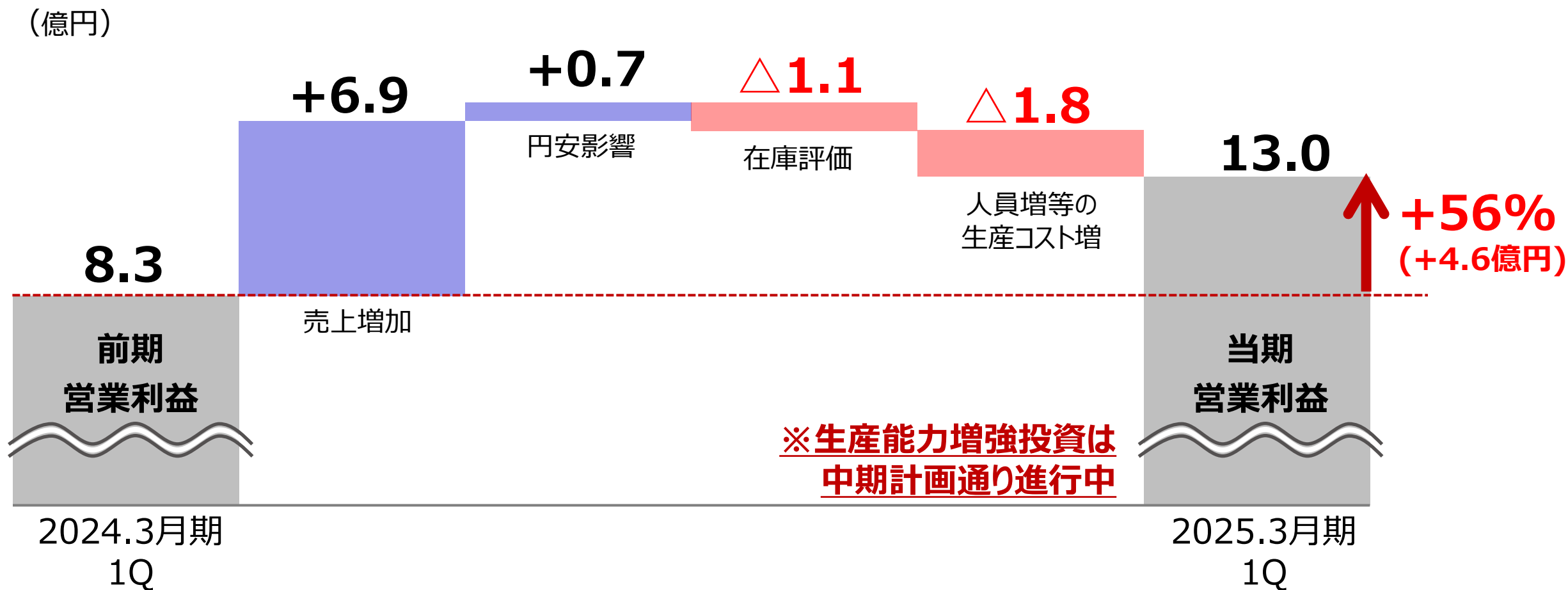
2024年8月9日

- 売上高は、在庫調整が一段落し、先端半導体向け材料の売上急回復などにより、92.1億円、前年同期比+21%の大幅増収。
- 営業利益は、売上増加により13億円、同+56%の大幅増益。

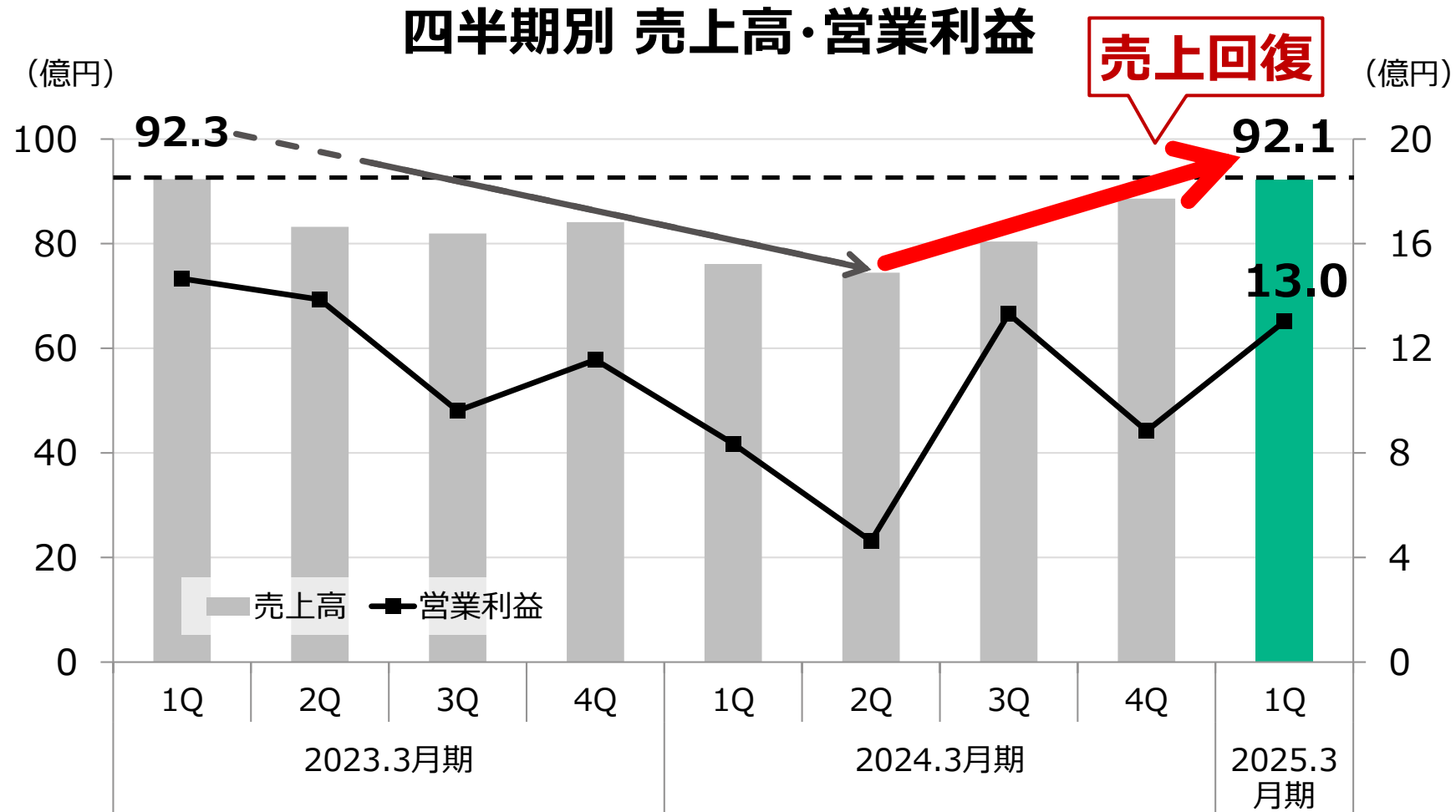
(億円)	2024.3月期 1Q 実績値	2025.3月期 1Q 実績値	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	76.1	<b>92.1</b>	+16.0	<b>+21%</b>
営業利益	8.3	<b>13.0</b>	+4.6	<b>+56%</b>
経常利益	8.2	<b>14.2</b>	+6.0	<b>+74%</b>
四半期純利益	5.5	<b>9.6</b>	+4.1	<b>+75%</b>
期中平均為替レート	¥136/\$	<b>¥154/\$</b>		

# 営業利益 前年同期比 増減要因

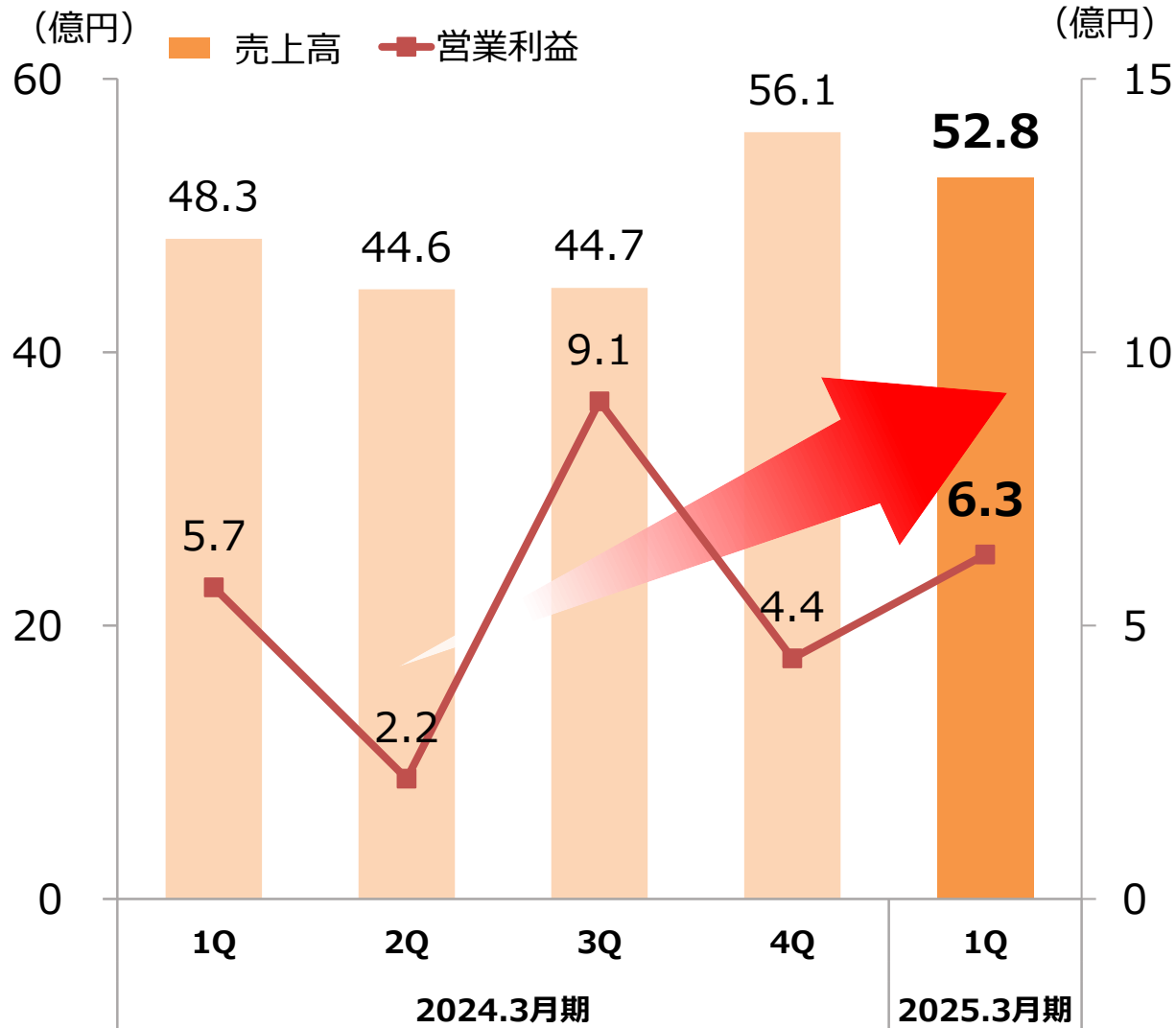
- 売上増加により、生産能力増強の費用増を吸収し、前年同期比+56%の大幅増益を達成。



- 2023.3月期2Qからの在庫調整が一段落し、**四半期売上は過去最高水準へ回帰。**



## 売上高・営業利益



**売上高：52.8億円**

(前年同期比 +4.5億円、+9%)

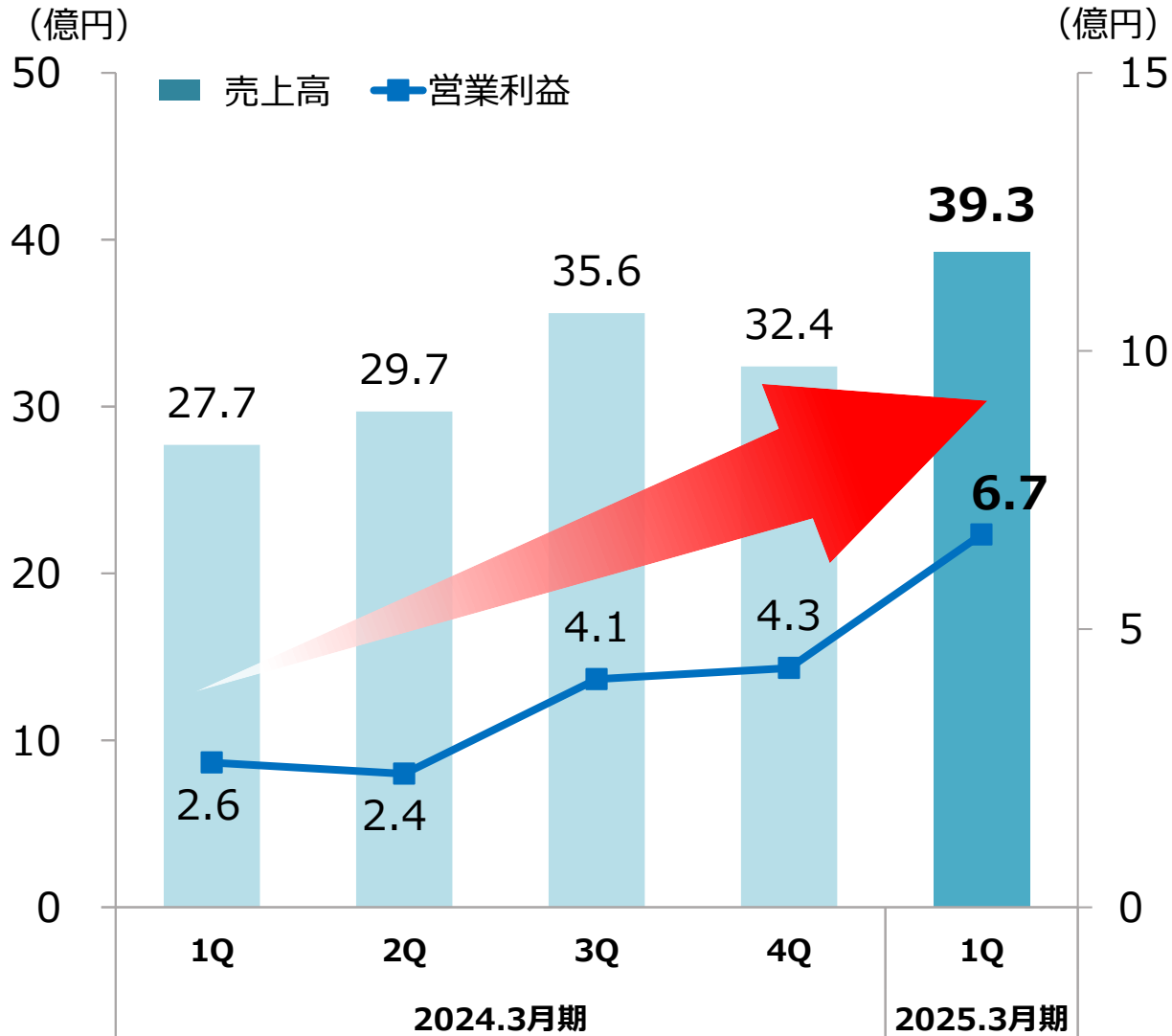
- 半導体向け材料は、先端分野を中心に回復が進み、売上拡大。
- ディスプレイ向け材料は、中国を中心にパネル生産が一定レベルに保たれ、当社への需要も堅調。

**営業利益：6.3億円**

(同 +0.5億円、+10%)

- 需要増により生産能力増強に伴う費用増を吸収し、増益。

## 売上高・営業利益



**売上高：39.3億円**

(前年同期比 +11.5億円、+42%)

- 電子材料関連は、在庫調整が一巡し、先端半導体向け材料の売上急増。
- 香料材料関連は、需要回復が継続し、増収。
- ロジスティックは、荷動きは低迷ながらも、タンク契約率は高水準で推移。

**営業利益：6.7億円**

(同 +4.1億円、+158%)

- 需要増により前年同期比2.6倍の大幅増益。

# 2025年3月期 第1四半期 損益計算書

- 売上高は、92.1億円（前年同期比+21%）。
- 売上総利益は、売上拡大により費用増を吸収し、+5.5億円、売上総利益率1.8pt良化の26.1%。
- 経常利益は、為替益もあり+6億円、経常利益率4.7pt良化の15.5%。

(億円)	2024.3月期 1Q	2025.3月期 1Q	増減額	増減率
<b>売上高</b>	76.1	92.1	+16.0	+21%
売上原価	57.5	68.0	+10.5	+18%
<b>売上総利益</b>	18.5	24.0	+5.5	+30%
販売管理費	10.1	11.0	+0.8	+8%
<b>営業利益</b>	8.3	13.0	+4.6	+56%
営業外収益	0.1	1.7	+1.6	—
営業外費用	0.2	0.5	+0.2	+84%
<b>経常利益</b>	8.2	14.2	+6.0	+74%
特別損益	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	—
税引前当期純利益	8.0	13.9	+5.9	+74%
法人税等合計	2.5	4.2	+1.7	+70%
<b>当期純利益</b>	5.5	9.6	+4.1	+75%

売上総利益率  
24.4%→26.1%  
1.8pt良化

経常利益率 15.5%

# 2025年3月期 第1四半期 貸借対照表

- 売上拡大により運転資金は12億円の改善。(=売上債権+棚卸資産-仕入債務)
- 生産能力増強の設備投資継続により、有形固定資産は+8.6億円、借入金は+17.1億円。
- 純利益の増加により、株主資本は+8.0億円。自己資本比率は37.2% (+0.5pt) に上昇。

(億円)	2024.3月末	2024.6月末	増減額	(億円)	2024.3月末	2024.6月末	増減額
<b>流動資産</b>	226.8	232.0	+5.2	<b>負債</b>	376.9	381.8	+4.9
現金預金	36.4	35.1	△ 1.2	仕入債務	40.0	55.5	+15.4
売上債権	72.2	69.7	△ 2.4	借入金	220.0	237.2	+17.1
棚卸資産	103.3	109.7	+6.3	その他	116.7	89.0	△ 27.6
その他	14.7	17.3	+2.5				
<b>固定資産</b>	368.3	376.4	+8.1	<b>純資産</b>	218.2	226.6	+8.4
有形固定資産	338.6	347.3	+8.6	株主資本	216.3	224.4	+8.0
無形固定資産	15.7	16.5	+0.7	評価・換算差額等	1.9	2.2	+0.3
投資・その他	13.9	12.6	△ 1.2				
<b>資産合計</b>	595.1	608.5	+13.3	<b>負債・純資産合計</b>	595.1	608.5	+13.3



# 2025年3月期 上期業績予想値と進捗状況

- 上期業績予想値に対する1Q進捗率は、売上高51%、営業利益84%、経常利益95%。
- 急速な需要回復により操業度も向上し、利益進捗も加速。

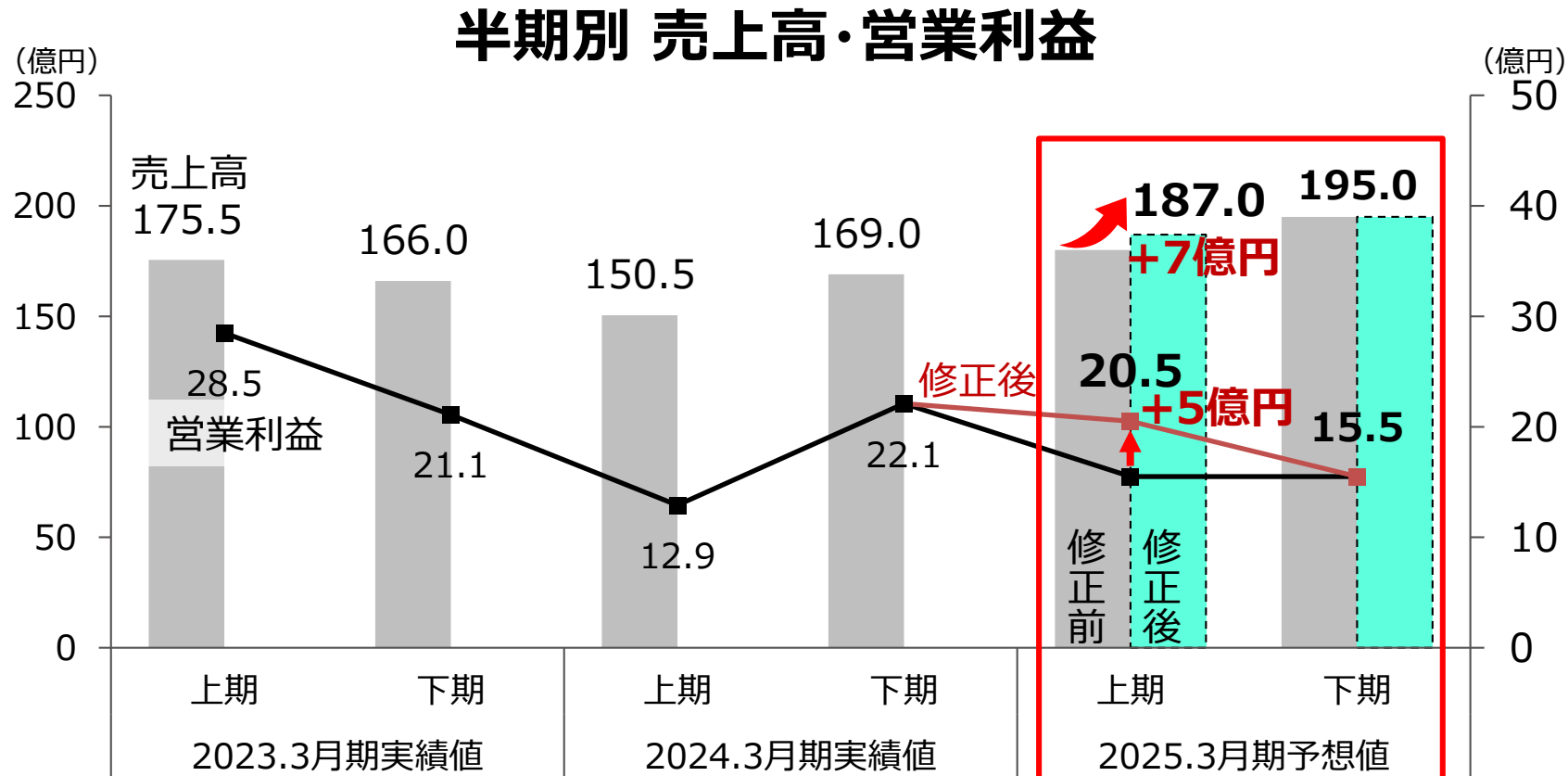
(億円)	2025.3月期 上期業績予想値	2025.3月期 1Q実績値	進捗率
売上高	180.0	<b>92.1</b>	<b>51%</b>
営業利益	15.5	<b>13.0</b>	<b>84%</b>
経常利益	15.0	<b>14.2</b>	<b>95%</b>
四半期純利益	10.0	<b>9.6</b>	<b>97%</b>
為替レート (USD)	¥148/\$	<b>¥154/\$</b>	

# 2025年3月期 業績予想値の修正

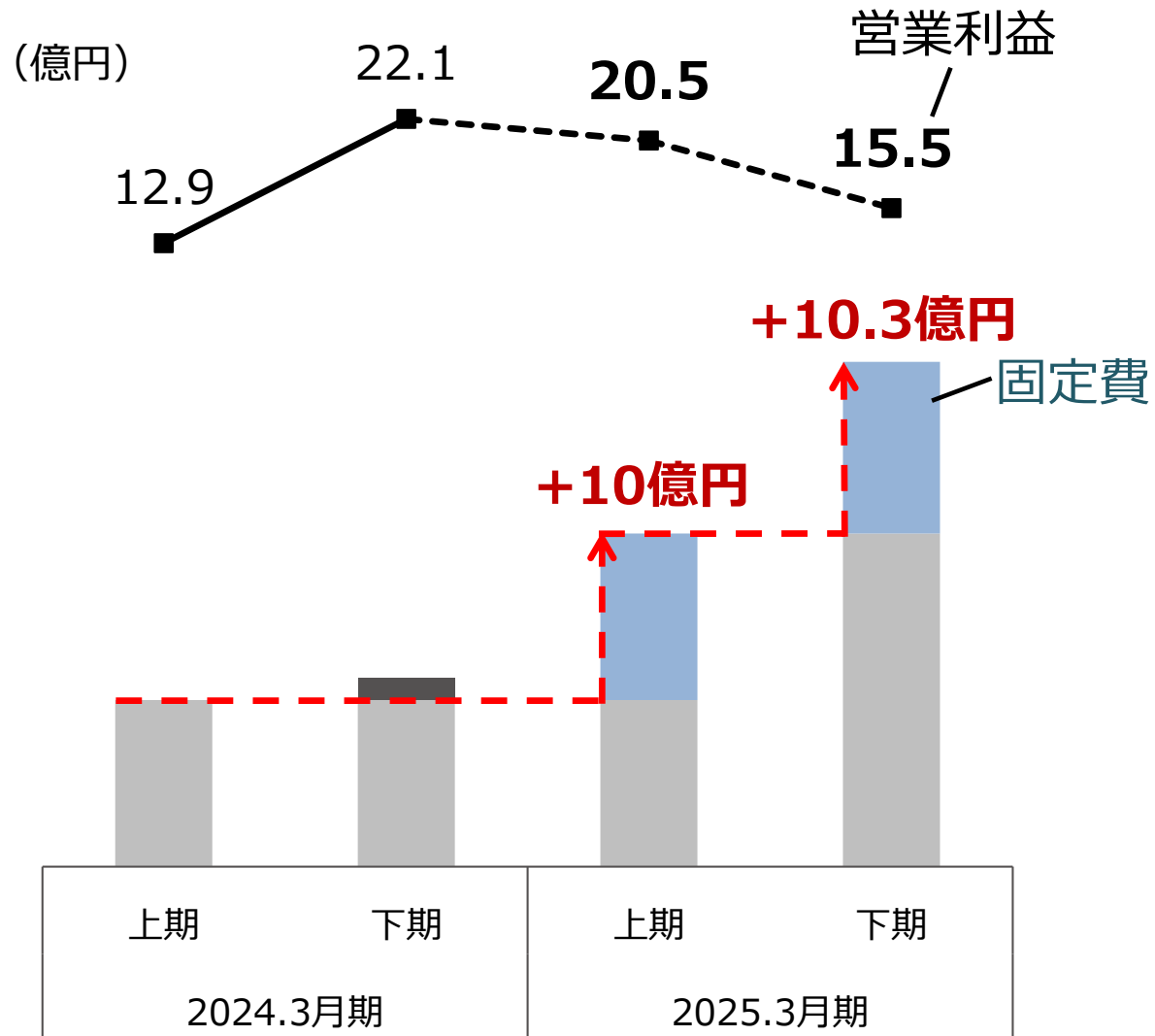
- 半導体市場の需要回復が当初想定より早まったことから、上期業績予想値を上方修正。
- 下期は、前回発表予想値に上期からの需要回復の継続を含んでおり、業績予想値は変更なし。
- **通期売上高は過去最高を予想。**

(億円)	2025.3月期 上期				2025.3月期 通期			
	期初 業績予想値	修正後 業績予想値	増減額	増減率	期初 業績予想値	修正後 業績予想値	増減額	増減率
売上高	180.0	<b>187.0</b>	<b>+7.0</b>	<b>+4%</b>	375.0	<b>382.0</b>	<b>+7.0</b>	<b>+2%</b>
営業利益	15.5	<b>20.5</b>	<b>+5.0</b>	<b>+32%</b>	31.0	<b>36.0</b>	<b>+5.0</b>	<b>+16%</b>
経常利益	15.0	<b>20.0</b>	<b>+5.0</b>	<b>+33%</b>	30.0	<b>35.0</b>	<b>+5.0</b>	<b>+17%</b>
四半期純利益	10.0	<b>13.5</b>	<b>+3.5</b>	<b>+35%</b>	21.5	<b>25.0</b>	<b>+3.5</b>	<b>+16%</b>
為替レート (USD)	¥148/\$	¥148/\$			¥148/\$	¥148/\$		

- 2025.3月期上期予想値を、売上高187億円（+7億円）、営業利益20.5億円（+5億円）に上方修正。
- 下期は、売上高195億円、営業利益15.5億円の予想から変更なし。



## 営業利益額と固定費増加額



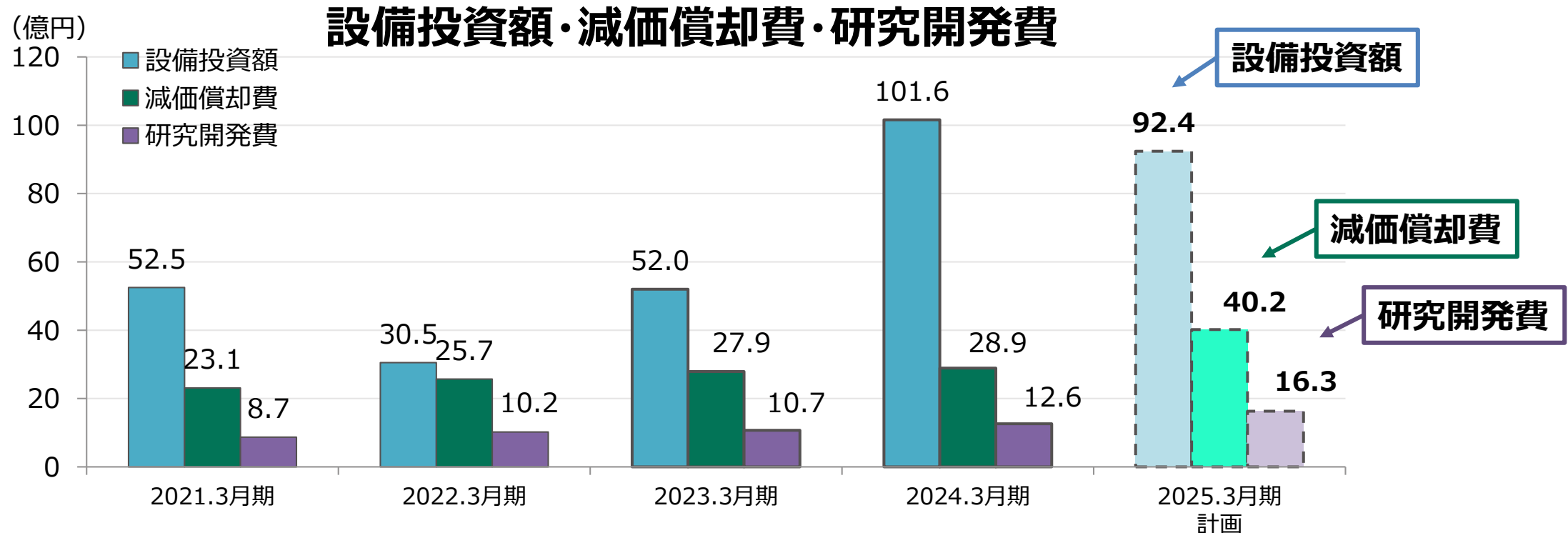
- 需要拡大に向けた、生産能力増強投資は計画通り進行中。
- 2024年9月に千葉工場 第4感光材工場 先端品生産ライン（投資額120億円）が完成予定。  
※先端品の生産能力を1.8倍に拡大。
- 稼働開始に伴い、下期は上期に比べ10.3億円の固定費上昇を想定。



# 補足資料

# (5/17資料 再掲) 設備投資・減価償却・研究開発の計画

- 2024.3月期は、第4感光材工場の先端品能力増強工事、淡路工場第2屋内充填所（完成済）など、101億円の設備投資を実施。
- 2025.3月期は、感光材開発分析棟（5月完成）、第4感光材工場の能力増強（8月完成予定）などにより、92億円の設備投資（検収）を計画。大型設備完成により減価償却費は増加見込み。
- 研究開発では、製品開発に加え、生産性や品質向上に向けた製造技術力（分析/解析、工程開発）を強化
- 財政規律もリスク管理含め、しっかりと維持。



# 独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

---



東洋合成工業株式会社

(見通しに関する注意事項)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。